

第355回大学院医学系研究科・非介入等研究倫理委員会（Aチーム）議事要録

日時 2018年05月07日（月）15:00～15:45
 場所 教育研究棟13階 第7セミナー室
 出席者 赤林委員長、中島副委員長、大須賀副委員長、阿部、窪田、住谷、廣瀬、星、村山、神出、仲上、瀧本、佐伯、松留、水野 各委員
 欠席者 久米、桑嶋 各委員
 陪席者 上竹、渡邊、森、松本、深田、山崎、清水（祥）

○前回の委員会議事要録の確認が行われた。

○報告事項

1. 指摘事項に対する回答を得たうえで、委員長に一任することとなった以下の案件について、申請者から回答書が提出され、内容的に差し支えないと判断し承認した報告が行われた。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
11934	脇 嘉代	健康空間情報学 社会連携講座	特任准教授	糖尿病腎症に対する自己管理支援ICTシステムの有効性に関するランダム化比較試験

2. 既に承認されている案件について、軽微な変更と認め委員長一任で承認した報告が行われた。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
1731-(12)	田中 將太	脳神経外科	助教	脳腫瘍組織からの腫瘍細胞および癌幹細胞の培養、分離および解析
10619-(14)	朝岡 亮	眼科	特任講師	緑内障性視野障害進行予測モデルの構築
3937-(1)	野澤 宏彰	大腸・肛門外科	准教授	2 cm以下の浸潤大腸癌の臨床病理学的因子(多施設共同研究)
2424-(2)	下坂 浩則	検査部	副臨床検査技師長	ドライケミストリー法およびディスク法による臨床化学検査・血液学検査の精度評価
2656-(4)	近藤 健二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	准教授	好酸球遊走、活性化因子の解析に基づく好酸球性副鼻腔炎の病態生理についての研究
1954-(6)	大門 雅夫	検査部	講師	スペックルトラッキング法による心収縮異常の検出
1691-(4)	川上 憲人	精神保健学	教授	中高年の健康とストレスについての日米比較研究：質問紙調査および生理検査
2283-(5)	中村 真樹	泌尿器科・男性科	助教	泌尿器疾患（癌、良性）における臨床検体を用いたステロイド受容体関連遺伝子のタンパク、RNA解析
1650-(3)	小林 寛	整形外科・脊椎外科	助教	日本整形外科学会・国立がんセンター 全国骨・軟部腫瘍登録への参加
2094-(12)	笠井 清登	精神神経科	教授	血液・唾液中のタンパク・アミノ酸解析による精神神経疾患の成因に関する基礎的研究
11134-(1)	南学 正臣	腎臓・内分泌内科	教授	我が国における慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease: CKD）患者に関する臨床効果情報の包括的データベースの構築に関する研究（多施設共同後向き観察研究）
11682-(1)	山本 則子	高齢者在宅長期ケア看護学	教授	長期療養施設におけるケアの質改善のための看護・介護職者への教育方法の検討 －看護・介護職者を対象とした事例検討会の実施及び効果検証－
2051-(4)	宮垣 朝光	皮膚科	講師	皮膚リンパ腫臨床統計調査
3591-(5)	立石 敬介	消化器内科	講師	ヒト肝胆膵悪性腫瘍切除検体を用いたxenograft panelの研究開発
3456-(5)	大須賀 穰	女性外科	教授	細胞老化と炎症に着目した早産の発生机序に関する基礎研究
10770-(3)	山中 崇	老年病科	特任准教授	骨折により入院した高齢患者に関する実態調査－2次データ解析－
10140-(3)	小林 廉毅	公衆衛生学	教授	歯科口腔メンテナンスにおけるコンプライアンスの口腔健康に対する影響(多施設共同研究)

10106-(1)	垣見 和宏	免疫細胞治療学 (メディネッ ト) 寄付講座	特任准教授	キメラ抗原受容体導入発現 $\gamma\delta$ T細胞による悪性中皮腫に対する免疫治療法の開発
10589-(2)	小林 廉毅	公衆衛生学	教授	勤労者の歯科健康診断の効果および健康・仕事のパフォーマンスの関連

3. 追加申請について、委員長一任で承認した。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
3333-144	森田 賢史	検査部	臨床検査技師	検査部における新規測定試薬及び測定機器の評価（追加申請） SIEMENS社Atelica UAS800の基礎的検討

○議事

- No. 11901（新規） 森田 啓行（循環器内科・講師）「レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。
- No. 11927（新規） 朝岡 亮（眼科・特任講師）「前視野緑内障を含めた早期緑内障の診断基準および進行評価に関する観察研究」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
[]より同意取得方法と検査内容について、[]より研究期間について、自然科学の有識者である委員 []より同意文書の記載について質問があり、内容の確認を行った。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。
- No. 11964（新規） 野村 周平（国際保健政策学・助教）「栄養食生活と疾病負荷に関する都道府県レベル研究」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】
利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと
- No. 11990（新規） 柴沼 晃（国際地域保健学・助教）「ウガンダ小中学校における障害児ケア提供者が直面する課題への対処方法と心理的耐性」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
自然科学の有識者である委員 []より研究体制について質問があり、内容の確認を行った。引き続き、担当の委員より対応表の取り扱いについて指摘があり、出席委員にて討議を行い、本委員会における指摘事項への回答と、訂正を加えた申請書の提出を受けた上で、委員長一任で承認することとなった。

【指摘事項】
・対応表の取り扱いについて明記すること

【附帯事項】
利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと
- No. 11943（新規） 遠山 和博（無菌治療部・助教）「多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。
- No. 11957（新規） 吉内 一浩（心療内科・准教授）「精神科領域における摂食障害患者の連携指針の作成のための調査研究（基礎的資料作成のための患者家族へのアンケート調査）」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。
- No. 11944（新規） 松本 明彦（泌尿器科・男性科・講師）「慢性腎臓病患者の免疫不全における免疫チェックポイント機構の役割」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
[]より研究対象者のリクルートの方法について質問があり、内容の確認を行った。

審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

8. No.11926 (新規) 奥原 剛 (医療コミュニケーション学・特任助教) 「日本人労働者かつ受診勧奨対象者の再受診行動に影響を与える要因に関する調査」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。
[]より同意取得の方法について、自然科学の有識者である委員 []より資料等の匿名化を行う施設について、質問があり内容の確認を行った。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

【附帯事項】

利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

9. No.11916 (新規) 藤城 光弘 (光学医療診療部・准教授) 「抗凝固薬内服が胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) の後出血に及ぼす影響の検討」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。
10. No.11946 (新規) 春名 めぐみ (母性看護学・助産学・准教授) 「乳児の皮膚アセスメントツールの開発と信頼性・妥当性の評価」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。
[]より使用する機器の侵襲性について質問があり、内容の確認を行った。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。
11. No.11869 (新規) 近藤 健二 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科・准教授) 「好酸球性副鼻腔炎に対する手術治療および保存的治療の予後調査」
担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。
[]より研究対象者のリクルート方法について、自然科学の有識者である委員 []より研究分担者の倫理教育の受講の有無について質問があり、内容の確認を行った。
審査の結果、特に問題は無く内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認することとなった。

以 上